



Y ICHITOKU

川越市立特別支援学校 学校だより

令和7年9月3日発行 第5号

学校教育目標『ひとりだちする生徒』

TEL049-222-2753 Fax049-229-1231

行事の多い二学期「経験に勝るものなし」



校長 肥留間 智子

今年の夏は、「記録的な暑さ」と毎日のように言われていましたが、40日間の夏休みはいかがでしたか。一学期の終業式に、メジャーリーガー選手の「毎日コツコツと努力することが、遠回りに見えて一番近道」という言葉を紹介し、「なりたい自分」を目標にして、誰にでも平等に与えられた40日間を、「自分から動く」夏休みにしてほしいと話しました。

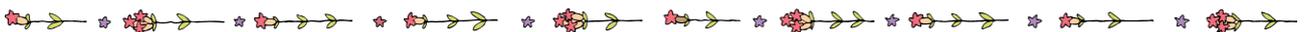
そして、始業式では、以下の話をしました。(一部抜粋)

「経験は知識に勝る」「経験に勝るものなし」という言葉があるように、皆さんがこの夏休みに経験したこと全ては、皆さん自身の知識(学び)になっているということです。つまり、この夏休みに経験したことからどんなことを考え、感じ、学んだのか、それは、これからの皆さんの行動、態度、姿勢、言葉などを見れば分かるということになります。二学期は、行事がたくさんあります。9月には「体育祭」、10月には「現場実習」、11月には「輝き祭」、12月には「ロードレース大会」があります。1年生は、初めてのことなので不安もあると思います。でも、今あげた行事も、毎日の学習も「ひとりだち」に必要な学習です。

「経験に勝るものなし」自分で目標を決めてできることを増やしましょう。心配な時には、「わかりません」「教えてください」と自分から先生方に伝えましょう。「できないこと」は、だめなことではありません。だめなのは、黙っていることです。皆さんの周りには、自分を支えてくれている人が周りにたくさんいます。自分から「表現(言葉)し伝える」こと、「行動する」ことは、たくさんの人の中で活動するには、必要なことです。

二学期も、「なりたい自分」を目指し、「感謝」「挑戦」「笑顔」で充実した時間を過ごしていきましょう。

一人一人の「ひとりだち」に向けたそれぞれの成長した姿を、様々な場面で見ることができるのは、今からとても楽しみです。二学期もどうぞよろしくお願いいたします。



「働き続ける上で どのような力が必要か」(8月25日職員進路研修より)

「株式会社ハイデイ日高」様の講演会がありました。「株式会社ハイデイ日高」から世の中の障害者雇用の常識を変えていく」という障害者雇用方針の下、障害者の固定されたイメージを払拭し「本人がやりたいことをやらせてみる」という考え方に教育現場との指導上の共通点を感じました。店舗で発生した問題の対応を例に挙げ具体的なお話を聞き、①自己発信力②柔軟性③自己制御力④ルールを守る⑤自己理解力 を生徒たちにつけていくことが大切だと感じました。今後の指導のヒントをたくさんいただきました。